

～田んぼまわりの生き物調査～

8月25日（日）朝から子供31名と大人40名計71名の参加のもと、五行川に流れ込む海老川において、生き物調査を行いました。（8年目の調査）

海老川は、V柵護岸でマコモや水草が生え、土砂溜まりができ、水田魚道を設置しているところで、遡上調査でもフナ、タモロコ、ドジョウ、タニシ、エビ、ザリガニ、ヤゴ等を多数確認しています。指導者の中荻さんから、水田魚道は、魚たちが産卵のために田んぼに遡り、産まれた稚魚が田んぼで成魚になって川に戻る架け橋になっている話を聞きました。

子供達は父兄や役員さんと、水路に入り、網を持って上流に向かい、魚をすくって、バケツに入れていました。県内では少なくなっているフナが多量に捕れ、絶滅危惧種のジュズカケハゼが複数見つかり、豊かな水路環境を確認しました。

公民館にて、アドバイザーの指導を受けて、捕獲した魚の名前を調べ、絵に描いて切り抜き、模造紙に貼って生きものマップをつくりました。参加した皆さんは、田んぼまわりの大切さを認識し、生態系保全活動の必要性を感じたようです。

お楽しみタイムには、役員有志の手作り焼きそば、かき氷、ドジョウやカジカ、タモロコ等の唐揚げがふるまわれ、田んぼで捕れたドジョウを食べたことがない子供もおいしいと食べていました。（黒須記）

排水路での調査風景



海老川での調査風景



初めて参加した親子



地元の役員さんが指導



今回の調査で捕れた生きものは、カラドジョウ 30、タモロコ 30、カワムツ 15、オイカワ 5、フナ類 150、ナマズ 1、ギバチ 3、ジュズカケハゼ 3、カワリヌマエビの仲間（外来種）250、タイコウチ 1、ミズカマキリ 3、ヒメゲンゴロウ、コシマゲンゴロウ各 1、アメリカザリガニ 176、タガメ死骸 1、トンボヤゴ 3 種類、トウキョウダルマ 4、カワニナ 100 以上、ハグロトンボ、シオカラトンボ等です。

捕獲頑張った親子



生きもの調査指導者の皆さん



アメリカザリガニ数え



ハツ木名物焼きそば隊



保全会の役員さん



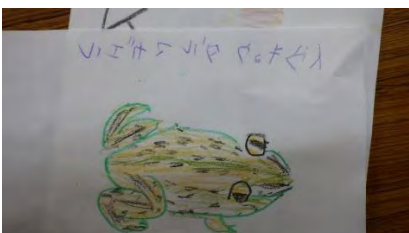
ハツ木名物ドジョウ唐揚げ隊



生きもの調査参加者



生きものマップ用絵です。上手



ハグロトンボのヤゴ



今年の生きもの調査は元気なお父さん・お母さん・そして子供達が猛暑の中奮闘してくれました。
県内でも上位に位置する生態系豊かなハツ木です。

アドバイザー 中 荃 元 一